

私と音楽

言語大学 ベジアン

音楽は美術と一緒に人間が作った芸術の一つです。5 万年前に生まれ、今でも人間の生活に必要な役割を持っています。現在様々な店とか、レストランとか、乗り物でもよく流れています。また音楽によってお金をもうける人もいます。ところが最も面白いのは、音楽は国民全体の気持ちや文化や歴史を表す力があります。例えばタジクの伝統的な音楽を聞いて、タジキスタンの国民は楽天的でいつも元気だということがわかります。一方ロシアの伝統的な音楽を聞いて、ロシアの国民は歴史的に苦しんでいて、非常に働くことが好きな国民だということがわかります。でも、私にとって音楽は何でしょう。

音楽に関心を持ったのは中学校の頃です。初めにタジク語の音楽聞き始めて、ロシア語や英語やフランス語や日本語の音楽へと興味が広がっていきました。モーツァルトの音楽からビートルズのロックまで、全ての音楽のジャンルが大好きです。中学校の頃から音楽を聞く時間は徐々に増えて、今では4時間ぐらい聞きます。チャンスがあると、どこでも音楽を聞きます。勉強しながらでも、乗り物に乗っているときでも、スポーツ教室でも聞きます。不安に思っているときや、大切な選択するとき、音楽はよく助けてくれます。

3 年前キックボクシングを始める選択をしたとき、エミネムという歌手の曲をずっと聞いていました。弁論大会に参加する決意する前に、イメジンズラゴンスバンドの曲を聞いていました。大事な選択はもちろん、寂しいときや悲しいときもよく助けてくれます。そういうときは、日本人の秦基博の「透明だった世界」という曲をよく聞いています。一年前彼女と別れたとき本当に役に立ちました。しかし音楽に頼り続けるのは正しいことでしょうか・

私は正しいと思います。音楽のような芸術の一つの目的は、人間の役に立つということです。私は、今までも音楽に助けられ、これからも助けられることでしょう。私は、これからも音楽とともに生きていきたいと思っています。